

尾花沢市
スポーツ協会
だより

雪華

第11号

◆発行者◆
尾花沢市スポーツ協会
〈社会教育課内〉(23-3332)

◆発行日◆
令和6年1月1日

題字
尾花沢市教育長 五十嵐 健

雪華の由来：雪の結晶は、2つと同じ形はない。その成長は、いろんな変化とともに地上へ舞い降りてくる。スポーツ協会も各団体連盟の個性を生かし、調和しながら、新しい組織体制で飛躍できれば、という願いから。

会長あいさつ



尾花沢市スポーツ協会
会長 永登 一明

2024年(令和6年)、明けましておめでとうございます。今年の干支は「甲辰(きのえたつ)」で、先見の明があり人の先を行く人とのこと。反面マイペースで我が道を行く性格で、つかみどころがない人と思われがちかな？

さて、昨年6月23日に、日本スポーツ協会の第17代会長に、山形県の遠藤利明氏が選出されました。東京五輪・パラリンピック大会の五輪相や組織委員会の副会長を務めた方です。「スポーツは楽しく、地域を元気に。」と意欲を示しております。また、協会副会長の益子直美氏(元バレーボール全日本代表)が日本スポーツ少年団本部長に就任されました。彼女は自分の体験を踏まえて、2015年から「監督が怒(おこ)ってはいけない大会」を主催し、子ども達が楽しく伸び伸びとしたプレーが出来るよう勧めています。

今年の2月に第78回国スポ大会冬季スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」が蔵王と赤倉で行われます。この大会からこれまでの国民体育大会から国民スポーツ大会に名称が変更されました。是非足を運んで県選手団を応援しましょう。

昨年のスポーツ情報で感激したのは、大類涼太君(尾中生)が10月に鹿児島で行われた特別全国障害者スポーツ大会(国体)で陸上走り高跳び(1m64cm)優勝、走り幅跳び(5m44cm)準優勝の活躍をされたことです。他にも尾花沢出身の方々が頑張っているのを見ると、元気をもらい嬉しくなります。

「延ばそう！健康寿命」と様々な情報が流布されていますが、山形県の高齢者人口は36万2000人程で、高齢化率は34.8%で全国第5位の高さとなっています。当市の高齢化率は43.7%で県内第5位と高位置にあります。日常生活に支障なく、健康に過ごせる期間(健康寿命)を一年でも長く延ばしたいものです。少年青年層の不適切な食事や運動不足も指摘されています。最近、スポーツで「ウェルビーイング」(身体的・精神的・社会的に良好な状態)なる言葉が多く見かけます。幸せを求めましょうと言うことです。押しつけがましいかもしれませんが、「スポーツは自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化である。」(日本スポーツ協会の理念)と言っています。音楽や美術等と同様、文化の一つと考えるとちょっと気が楽になって運動・スポーツへの無関心が和らぐかもしれません。芸文協の伊藤瓢堂会長が、文化で「照一隅」(一人ひとりが自ら光となり、周りおもしろく照らしましょう。)と諭してくれます。ちょっと難しい話になりました。

尾花沢には雪が降ります。降りすぎます。でも、花笠高原スキー場や徳良湖スノーランドでこの地ならではの雪と戯れ楽しい思い出を作ってください。雪かきは大変ですが、十分注意をしながら健康運動と考えましょう。私はたとえば、性格なのか適当(調和を考え)で頑張らない日々を送っています。市民の皆様が良き年となりますように!!

スポーツを通し子供たちから得た感動

スポーツの思い出は、教員として経験した、学校や子供たちとの出会いによる思い出である。地域の違いや、子供の特性を活かそうと努力したのもあった。

初任地は庄内。スポ少黎明期に野球を担当した。日々の練習や休業時は合宿もあり、地域指導者のお手伝いをしながらの活動。一番の思い出は、中山町の出来立ての県野球場での大会。試合は残念ながら第2球場だったが、こんないいグラウンドで試合できる子供たちがうらやましかった。

次は、鶴子小。冬のスキーと共に夏の水泳も盛んだった。当時は、1日3回泳ぐのが日常で(授業、放課後、夜間の市民プール)、延々と泳ぎ続ける子供たちが、水の中でも汗をかいていたことが忘れられない。シーズン最後は、県の学童大会。スイミングも台頭してきた中、山間の小さな学校プールで鍛えた子が優勝してしまった経験は、私には大きな喜びとなり自信となった。

尾花沢小を最後に退職したが、最後の1年も忘れがたい。例年通り地区大会入賞を目指して取り組んだ陸上練習。正に切磋琢磨し個々の走力が大きく向上、リレーチームを決めるにも困難を極めた。その中で悔しさを味わった子もいたが、その分の頑張りを誓って出場した地区大会、男女共にリレー優勝。当初は誰も予想しなかった快挙に沸いた。その後出場した県大会、地域のクラブチームが主流の中、単独校が男女4位、5位の成績。その子供たちは現在大学生の年齢。陸上を続ける子もいて、TVの画面越しに活躍の姿を見ることもある。

また、自己目標達成を誓った子も目に浮かぶ。小5年まで全く泳げなかった女の子が、50Mを泳ぎ卒業すると誓った。家族の協力を得ながら練習し、1分30秒かけて泳ぎ切った時、プールサイドの歓声が忘れられない。また、5年時に周回遅れに近い校内スキー大会結果に奮起し、1年だけのスポ少参加。夏のランニングから努力し、最後の大会では見事入賞を勝ち取った男の子にも感動した。

改めて、「スポーツは心と体を鍛える」を実感させられた子供たちの姿であった……それに比べ、何も実践できないでいる自分の弱さを嘆いている。



尾花沢市教育長
五十嵐 健

NO!
スポハラ

スポーツ・ハラスメント
(暴力、暴言、ハラスメント……)に、

みんなが「NO!」と言う社会をめざして

令和5年度 第51回市民総体結果 (上半期)

☆ソフトボール／令和5年8月23日

優勝 レッドスターズ
2位 ラガーズ

☆クレール射撃／令和5年8月19日

1位 小松 久雄
2位 伊豆 徹
3位 矢作 敏郎

☆グラウンドゴルフ／令和5年10月7日

Aコース

1位 戸津 宣夫 (福原)
2位 石川 一男 (常盤)
3位 大類 司 (福原)

Bコース

1位 大山 光男 (玉野)
2位 高橋 清 (玉野)
3位 及川 國男 (尾花沢)

※大雨のため1ゲームのみ

☆テニス／令和5年10月1日

ダブルス

1位 大類 学、尾崎 総州
2位 菅野 他人男、尾崎 一成

シングル

1位 大類 学
2位 尾崎 総州
3位 尾崎 一成

☆ゲートボール／令和5年10月7日

1位 横町Bチーム
2位 横町Aチーム
3位 新町チーム

☆卓球／令和5年7月30日

青年男子の部

1位 三浦 元広
2位 松浦 優介
3位 飯田 和希、折原 満

成年女子の部

1位 小野 美麗
2位 西尾 美藍
3位 押切 聖奈

女子2年生の部

1位 五十嵐愛彩
2位 安倍すすな

女子1年生以下の部

1位 西尾 滯音
2位 齋藤 優菜

男子1年生以下の部

1位 柴田 鉄汰
2位 栗原 輝

3位 西尾 李桜、西尾 竜華

男子2年生の部

1位 大貫 勇人
2位 安達 祐太郎
3位 吉田 裕太郎

男子団体

1位 尾花沢中学校
2位 福原中学校A
3位 福原中学校B

体験型スポーツ活動

尾花沢総合スポーツクラブ スポーツ少年団

★見学・体験 随時受付中★

対 象：年少～小学生 (男女不問)

開催日：土曜日(月2回) 10:00～12:00

場 所：尾花沢市体育館及び運動公園内施設

内 容：Tボール・フットサル・バレーボール・バスケットボール・
バドミントン・モルック・ボッチャ・クロスミントンなど

【お問い合わせ】尾花沢総合スポーツクラブ スポーツ少年団

事務局 NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ 内(尾花沢市体育館内) 担当者 志村

尾花沢市新町三丁目5-35 TEL: 0237-24-0188 / MAIL: fight@ic-net.or.jp

WHITE FOX ミニバスケットボールスポーツ少年団

活動拠点：尾花沢・福原・宮沢小学校 代表指導者：菅野 祐賢
活動日：火曜・木曜・金曜

WHITE FOXミニバスケットボールスポーツ少年団は、男子8年目、女子35年目となるスポーツ少年団です。近年では、男子で令和元年度に県大会ベスト8、令和3年度は県大会出場を果たしました。

チームを長く支えてきた言葉は、「諦めたらそこで試合終了」です。バスケットボールは、走るスポーツです。男女とも走り勝つバスケットボールを目指して練習に取り組んでいます。走ることに自信がない子でも体の使い方を覚えれば、誰でも足が速くなります。運動会の短距離走での上位入賞者も多数在籍しています。

大いに盛り上がりを見せたワールドカップで、見事パリオリンピック出場を決めたアカツキジャパンの渡邊選手や河村選手、富永選手もミニバスを経験して、世界の舞台に立っています。スラムダンクブームも相まって、現在バスケ熱は高まっています。

バスケでおばねを元気に！バスケやろうぜ！



編集後記

今スポーツ界での最大の感心事は、契約金史上最高額も囁かれるプロ野球大谷選手の移籍先ではないでしょうか？

「二刀流」でのプレーはもちろん、全小学校に計6万個のグラブを寄贈すると発表した際のメッセージは「野球しようぜ!」。心が熱くなりました。これに影響を受け、各種競技団体皆でメッセージを発信し、競技人口を増やしていけたらと思っておりますので、ご協力方よろしくお願い致します。

私はもちろん「ソフトしようぜ!」。

安達 忠行

尾花沢市スポーツ協会広報誌編集委員紹介

会長／永登 一明 副会長／徳宮 龍男

編集委員長／安達 忠行（市スポーツ協会理事長）

編集委員／鈴木 賢（社会教育課長） 編集委員／富樫 久芳（社会教育課）

関係団体／佐久間秀晴（NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ マネジャー）

関係団体／阿部 翼（市スポーツ少年団本部 事務局担当）

【連絡先】 尾花沢市スポーツ協会事務局（尾花沢市社会教育課内）

☎0237-23-3332

尾花沢市スポーツ少年団本部（NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ内）

☎0237-24-0188